

誰もが“つながる” ～新しい福祉のかたち～

多世代共生型施設のオープンにむけて ～Vol.2～

気持ちがつながる、笑顔がつながる、地域社会につながる
「誰もが“つながる”多世代共生型施設をコンセプトに
 新しい福祉のかたちを追求し、地域共生社会を実現します。



Web [はこちら](#)から

多世代共生型施設は、子どもから高齢者、また障がいの有無に関わらず、丸ごと、誰もがつながり、支え合うことで生きがいを持って安心して暮らすことができる地域社会をつくりだすものです。

今号では、その中の一つの機能である「養護老人ホーム」についてご紹介します。

「養護老人ホーム」とは

おおむね65歳以上の高齢者で、家庭環境、住宅事情、また経済的な理由等により、家庭での生活が困難な方が入所する施設です。

※寝たきりや認知症などで常時介護が必要な方は入所できません。



めざす姿

- 個人の能力に応じた活動に自ら参加できる支援を行い、自分の役割を見つけることで、生活意欲や他者への貢献意欲の向上を図ります。
- 施設内の行事やクラブ活動などを、近隣住民など一般の方も参加できるよう開放し、交流を図ります。
- 本施設の多様な利用者（高齢者、乳幼児、障がい者等）や近隣住民等が共に行える野菜や花作りなどの園芸活動、壁面などの共同作品作りや季節の行事などの交流活動を促進します。
- 希望する入所者が本施設内でボランティア活動ができる環境を整えます。
- 本会の強みである地域福祉機能と連動し、入所者の地域行事への参加や社会復帰を支援するほか、本施設に併設予定の就労継続支援B型事業所とも連動し、清掃や食事の配膳補助といった就労機会を提供します。

